

第3回中部 MIST 研究会

若手医師、看護師向け Hands-on Seminar 報告書

2015年3月21日(土)の第3回中部 MIST 研究会通常本会前の午前を利用して若手医師・看護師を対象とした PPS 手技の Hands-on Seminar が開催されました。MIST 研究会としてはコ・メディカルを対象とした初の試みでしたが、予想以上の申込があり、会場は満員御礼の総勢 37 名 (医師 10 名 コメディカル 27 名) の参加となりました。

総合レクチャーでは、川崎医科大学脊椎・災害整形外科学教室 准教授 中西一夫先生より『代表的な腰椎手術と MIST (最小侵襲脊椎安定固定術)』と題し、脊椎手術の基本から症状に合わせた MIST の選択までご講義いただきました。続いて、名古屋第二赤十字病院 手術室 Ns. 関上彩さんより『器械出し実践方法と工夫～脊椎脊髄外科ナースを目指して～』と題し、日頃の実践ポイントから取り組んでいる活動を、続いてはちや整形外科病院 手術室 Ns. 丹羽雄二より『MIST 手術器械出し早期習得を目指して～攻めの器械出し育成～』として新人に対しての育成方法の取り組みを紹介しました。

上記レクチャー終了後は、各テーブル (XLIF/PPS (NuVasive 社) 2 テーブル、PPS (Stryker 社、Depuy 社※順不同) の計 4 テーブル) にわかれ、bone plate モデルを使用したワークショップに移りました。約 70 分間、参加者のみなさんには、実際の器械に触れていただき、ファルティー Dr./Ns. にポイントを教わりながら PPS を入れるなど、術者役の体験もしていただきました。ハンズオン開催中、大勢の参加者の方から質問が寄せられ、非常に活気のある研究会となりました。終了後のアンケートでは、「どのような考えで OPE をすすめているか Dr. に直接聞けてとても勉強になった (Ns.)」、「いつも思っていた疑問が解けてよかった (Ns.)」、「よりモチベーションがあがった (Ns.)」といった感想が寄せられ、MIST に対する関心の高さを伺えるものとなりました。

今後も本研究会へコ・メディカルが積極的に参加し、日頃の研究・実践など意見・情報交換できる場となり、患者さんによりクオリティーの高い治療を提供できるようになることを期待します。



第3回中部 MIST 研究会
Hands-on Seminar Faculty Nurse
丹羽 雄二
はちや整形外科病院 看護部手術室